

**概要** 障害者に対する物理的, 制度的, 心理的障害を取り除き, 障害のある人もない人も同じ生活を送ることができる社会を構築する。

**総合評価**

C

障害のあるひとの通所授産施設数は増加しているが, この施策においても市民の実感が肝心であり, 市民満足度調査を客観指標として採用している。この結果, 客観指標評価はCであり, 市民満足度評価のCと合わせ, 総合評価はCとする。

この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値, 現在値, 目標値, 達成度

評価

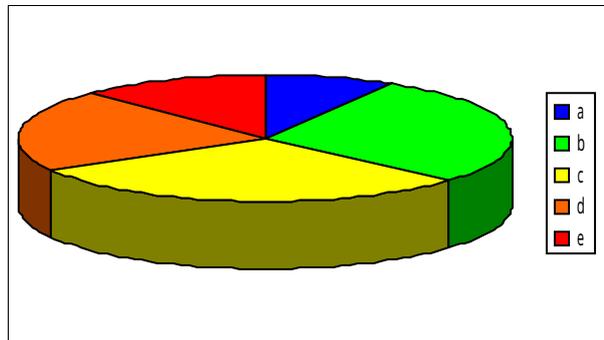
市民満足度評価

(準)障害のあるひとの通所授産施設の施設数(人分)

				C
	1116	1230	91.0%	B'

この施策に関する市民満足度評価

障害のある人が社会参加するための支援策が進んでいると思う。



答a: そう思う	32	8.5%
答b: どちらかというと思う	106	28.3%
答c: どちらとも言えない	112	29.9%
答d: どちらかというと思うわない	78	20.8%
答e: そう思わない	47	12.5%
有効回答数	375	
満足度評価		C

<参考> この施策実現のための主な事業  
事業名

障害者理解促進事業

京都市障害者施策推進協議会運営

精神医療実地審査